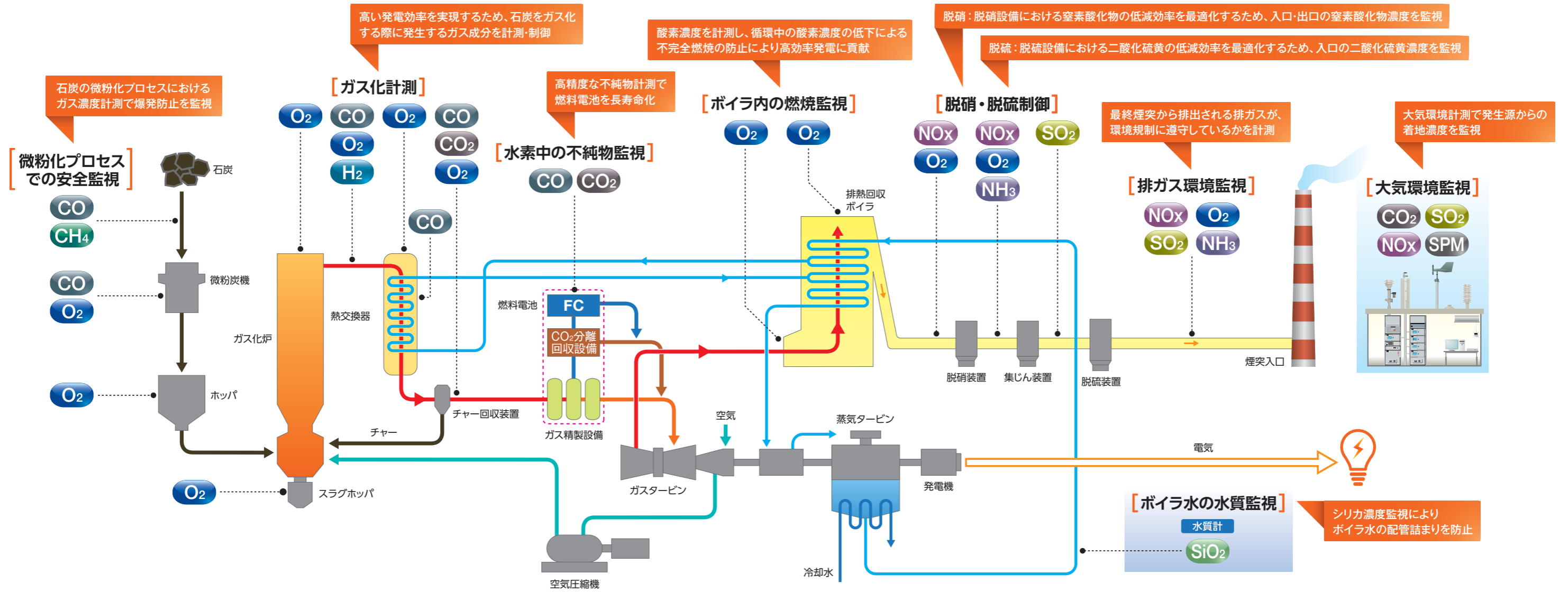


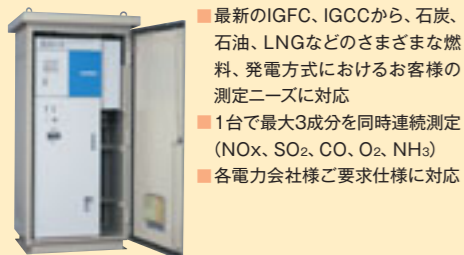


## IGFC・IGCCプラントなどにおける多様な計測・監視に

IGCC（石炭ガス化複合発電）は、石炭をガス化してガスタービンを使って発電します。同時に、ガスタービンの排熱を利用してボイラを動かし、蒸気タービンでも発電を行う、高効率な発電技術です。IGFC（石炭ガス化燃料電池複合発電）は、IGCCのガスタービンの手前に燃料電池を置き、石炭から発生する水素ガスで燃料電池による発電を行う技術です。IGCCよりもさらに高効率な発電技術で、約55%の発電効率に加え、従来比約3割の二酸化炭素の排出量を低減するといわれています。（2019年自社調べ）



### 煙道排ガス分析装置 ENDA-9000/C9000 Series



- 最新のIGFC、IGCCから、石炭、石油、LNGなどのさまざまな燃料、発電方式におけるお客様の測定ニーズに対応
- 1台で最大3成分を同時連続測定 (NOx、SO2、CO、O2、NH3)
- 各電力会社ご要望仕様に対応

### 煙道排ガス分析装置 ENDA-5000 Series



- 発電所だけでなく、清掃工場や石油化学工場など、各種工場などからの排ガスに対応
- 1台で最大5成分の同時連続測定が可能 (NOx、SO2、CO、CO2、O2)
- クロスフローモジュレーション方式非分散型赤外線吸収法 (NDIR) を採用し、長期安定性を実現

### 微量ガス分析計 GA-370



- H2やN2、O2など純ガス中の微量不純物を計測し、ガス精製時のプロセスにおける品質管理に活用
- CO、CO2、CH4のうち最大2成分連続測定
- クロスフローモジュレーション方式非分散型赤外線吸収法 (NDIR) を採用し、長期安定性を実現
- 最小検出感度10ppbを実現

### マルチガス分析計 VA-5000 Series



- 実験、研究用途から排ガス計測まで、多様な場所で使用可能なマルチガス分析計
- 1台で最大4成分連続測定 (CO、CO2、CH4、N2O、NO、SO2、NH3、O2)
- 低濃度・高濃度を問わず、一台で広範囲な測定をカバー。
- 常に最適なレンジが選択できます。高感度検出装置搭載

### シリカ分析装置 SLIA-5000



- ボイラ水中のシリカを計測することで、ボイラ水の監視に活用
- 5分間の高速で繰り返し性の高い測定
- 幅広い測定範囲で高感度レンジ0~10μg/Lから高濃度レンジ0~5.0mg/Lまで対応

### 大気監視用CO2濃度測定装置 APCA-370



- 大気環境モニタリングや大気バックグラウンド測定に加え、研究用途にも最適
- クロスフローモジュレーション方式非分散型赤外線吸収法 (NDIR) の採用により、光学調整が不要で、長期安定性を実現
- 最小検出感度 0.5ppmを実現